

下水処理場・ポンプ場における維持管理を起点とした マネジメントサイクルの確立に向けた技術検討会

設置趣旨

下水道施設については、老朽化による維持管理・更新費用の増大が見込まれる一方、これを管理する地方公共団体では、職員の減少に伴う技術力の低下や、使用料収入の減少による経営環境の悪化などが予想されることから、予防保全的な施設管理や執行体制の確保、効率的な予算執行により、下水道事業運営の持続性向上を図る必要がある。そのため、人・モノ・カネを一体的に捉え、中長期の視点から下水道事業全体を最適化していくアセットマネジメントの実現を図ることが重要である。

しかしながら、アセットマネジメントの基盤となる、施設情報や維持管理情報については、中小都市を中心に情報の電子化が遅れており、適切に蓄積・更新されておらず、また、これらの維持管理情報等を活用する仕組みが確立されていない状況にある。

本検討会においては、施設情報や維持管理情報を効率的かつ確実に蓄積、管理、分析し、維持管理を起点とした計画・設計、改築・修繕を行うマネジメントサイクルを確立するとともに、デジタルトランスフォーメーションによる維持管理業務等の効率化を促進するため、施設情報や維持管理情報の活用手法や、システム化すべき情報の項目について検討するものである。